

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（4月10日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機	
滞留水の水位 (4月10日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,221 mm (4月10日7時から35 mm上昇)	O.P.+ 3,227 mm (4月10日7時から1 mm上昇)		
	タービン建屋水位	O.P.+ 3,035 mm (4月10日7時から6 mm上昇)	O.P.+ 3,155 mm (4月10日7時から32 mm上昇)	O.P.+ 3,207 mm (4月10日7時から変化なし)	O.P.+ 3,170 mm (4月10日7時から5 mm上昇)	
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,224 mm (4月10日7時から33 mm下降)	O.P.+ 3,349 mm (4月10日7時から33 mm上昇)	O.P.+ 3,291 mm (4月10日7時から2 mm上昇)	O.P.+ 3,187 mm (4月10日7時から7 mm上昇)	
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 4,510 mm (初期値からの増加量5,727 mm, 4月10日7時から24 mm上昇) O.P.+ 2,898 mm (初期値からの増加量3,624 mm, 4月10日7時から189 mm下降) O.P.+ 4,345 mm (床面からの水位549 mm, 4月10日7時から253 mm下降)			
滞留水の移送状況		1号機	2号機	3号機	4号機	
				3号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋) 移送実施中 (4月10日13時31分～)		
		5・6号機				
		6号機タービン建屋地下 仮設タンク	移送実施	(4月10日10時00分～ 4月10日16時00分)		
水処理設備の運転状況		セシウム吸着装置 : 3月28日14時32分～ 運転中 第二セシウム吸着装置(サリー) : 4月10日9時50分～ 運転中 淡水化装置(逆浸透膜) : 水バランスをみて断続運転 淡水化装置(蒸発濃縮) : 水バランスをみて断続運転				
その他特記事項		・4月5日1時50分頃、淡水化装置から濃縮水を濃縮水貯槽に送る配管(耐圧ホース)からの水漏れが確認された事象について、一連の対策*が終了したことから、滞留水の処理を再開するため、淡水化装置(逆浸透膜式)については、4月9日9時52分に起動。また、第二セシウム吸着装置については、4月10日9時48分に起動し、同日9時50分、定常流量(40.0m ³ /h)に到達。 * : 漏えい箇所への吸収材の設置、U字溝と一般排水路の接続部への土のう設置、排水路内に溜まった漏えい水の回収および排水路洗浄と洗浄水の回収、漏えい拡大防止策として、サブレーションプール水サージタンク(SPT)(B)から淡水化装置(逆浸透膜式)へ移送するラインに対する土のうの設置(SPT建屋脇、斜面、排水路、マンホール付近)、濃縮水供給ポンプ出口からRO濃縮水貯槽間のホースについてはポリエチレン管に交換(現在、淡水化処理時に使用しているライン) ・4月10日9時30分～16時52分、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋へ滞留水の移送を実施。				

水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。